

# 「生命のがん教育」を実施しました

(令和4年2学期分)

令和4年2学期は58校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

## ◆授業形式

- (1) 医療従事者等によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

## ◆授業風景



(京丹後市立丹後中学校)



(京都府立海洋高等学校)

## ◎小学校 (10校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
8/31	亀岡市立畑野小学校	4,5,6	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
9/1	京都市立養正小学校	6	京都大学医学部附属病院 消化管外科講師 肥田 侯矢
10/7	京丹波町立瑞穂小学校	6	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10/14	相楽東部広域連合立和束小学校	6	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
10/28	井手町立多賀小学校	5	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
11/1	一燈園小学校	6	京都府立医科大学大学院 医学研究科 教授 武藤 倫弘
11/4	京都市立山ノ内小学校	6	京都民医連中央病院 副院長 田中 憲明
11/28	亀岡市立吉川小学校	4,5,6	京都市立病院 緩和ケア科部長 大西 佳子
12/2	舞鶴市立池内小学校	5,6	舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
12/16	亀岡市立詳徳小学校	6	京都市立病院 乳腺外科部長 森口 喜生

## <児童の感想>

- 自分が大人になった時、がんにならないように気を付けたいし、一度なったらその後も治療をしないといけないので、気を付けたいです。家族が2人たばこを吸っているので注意して、家族みんながんになりたくく

なってほしいです。

◇ がんは身近にあると知った。そして必ずならない方法もないと分かった。気を付けてほしい。身近に苦しい思いをしている人がいると分かった。

◇ がんは2人に1人になると聞いて、自分もなるかもしれない、他人事じゃないことが分かった。そのためにバランスのいい食事、睡眠が大切なことが分かって改めて気を付けようと思った。学んだことを家族に話そうと思っている。がんは意外と身近な病気で気を付けないといけないと思った。

◎中学校（20校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9/21	南丹市立桜が丘中学校	全学年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
9/30	京都市立高野中学校	1	京都大学医学部附属病院 産科婦人科 准教授 濱西 潤三
10/3	木津川市立泉川中学校	2	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
10/4	木津川市立木津第二中学校	1	京都府健康福祉部 理事 重見 博子
10/7	相楽東部広域連合率笠置中学校	全学年	京都山城総合医療センター 緩和ケア 看護師長 大西 宏美
10/13	京丹後市立丹後中学校	3	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/13	京丹後市立弥栄中学校	3	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/14	京田辺市立田辺中学校	2,3	京都府健康対策課 医務主幹 春里 暁人
10/28	舞鶴市立加佐中学校	2	舞鶴医療センター 外科部長 熊野 達也
11/1	宮津市立宮津中学校	2	京都府立医科大学附属北部医療センター 診療部長 堅田 和弘
11/1	一燈園中学校	2,3	京都府立医科大学大学院 医学研究科 教授 武藤 倫弘
11/15	舞鶴市立白糸中学校	3	舞鶴総合医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
11/15	舞鶴市立青葉中学校	3	舞鶴総合医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
11/25	舞鶴市立城北中学校	3	舞鶴総合医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
11/25	京都市立嵯峨中学校	2	京都民医連中央病院 腫瘍内科医長 ファム グエン キー
11/29	八幡市立男山第三中学校	3	京都岡本記念病院 消化器内科医長 山口 勝利
11/30	京都市立蜂ヶ丘中学校	2	京都民医連中央病院 副院長 川島 市郎
12/2	舞鶴市立和田中学校	3	舞鶴総合医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
12/7	八幡市立男山中学校	3	宇治徳洲会病院 呼吸器内科 福井 基隆

12/9	相楽東部広域連立和東中学校	3	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
------	---------------	---	---------------------------

<生徒の感想>

- ◇ 初めは何だこれ?と思ったけど、もっと詳しく知れた気がした。生活習慣を見直したり、適度な運動、食事、睡眠をとろうと思った。たばこは危険だな~と思いました。
- ◇ がんとか感染症に関する化学式が一番印象に残った。これからは運動不足に気を付けたい。
- ◇ がんはいつどのタイミングでなるか分からないが、実際の体験の話を聞いたのでよく分かりました。また、この先も健康に気を配ろうと思いました。
- ◇ 僕はがんをもっと少ないものだと思っていたけど、身近で怖いものなんだなと思ったので、大人になったらがんの検診に行くようにしたいです。また親にも話して、気をつけてもらえるようにしたいです。命を大切にするために食べるものも考えるようにしたいです。
- ◇ 今日の授業で印象に残っていることは、もしがんになってしまっても、周りの人が助けてくれれば、すごく生活しやすくなることです。僕もがんになってしまった人を助けられる1人になりたいです。これからの生活、100%がんができないように生活するのは難しいので、ちょっと気を付けるぐらいで生活したいです。

◎高等学校 (28校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
9/2	福知山淑徳高等学校	1	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
9/9	京都府立北陵高等学校	1	京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 講師 石井 隆道
9/14	京都聖母学院高等学校	1	京都第一赤十字病院 緩和ケア内科部長 上田 和茂
9/14	京都府立西乙訓高等学校	1	京都済生会病院 消化器内科部長 大野 智之
9/15	一燈園高等学校	1	洛和会京都医学教育センター長 酒見 英太
9/22	京都翔英高等学校	1	宇治徳洲会病院 呼吸器内科部長 千原 佑介
10/7	京都府立京都八幡高等学校 北キャンパス	1	京都岡本記念病院 副院長 清水 義博
10/12	京都市立紫野高等学校	1	京都鞍馬口医療センター 副院長 山下 哲郎
10/18	京都府立京都八幡高等学校 南キャンパス	1	京都岡本記念病院 消化器内科医長 岡崎 裕二
10/19	京都府立丹後緑風高等学校 久美浜学舎	1	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/20	京都府立嵯峨野高等学校	1	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
10/21	京都府立綾部高等学校	1	京都府健康対策部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
10/26	京都府立海洋高等学校	1	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/26	京都府立農芸高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10/27	京都府立山城高等学校	1	京都府立医科大学教育センター 特任教授 曾和 義広

11/2	京都府立須知高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
11/11	京都府立福知山高等学校	1	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
11/11	京都府立洛東高等学校	1	洛和会京都医学教育センター長 酒見 英太
11/16	京都府立久御山高等学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
11/17	京都府立清新高等学校	1	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
11/18	京都府立福知山高等学校 三和分校	1	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
11/21	京都府立木津高等学校	1	京都山城総合医療センター 副院長 山口 明浩
12/1	京都府立西舞鶴高等学校	1	京都府健康福祉部 理事 重見 博子
11/29	京都市立京都奏和高等学校	1	医仁会武田総合病院 副院長 財間 正純
12/4	京都府立朱雀高等学校	1～3	京都府健康対策課 技師 中村 寛子
12/7	平安女学院高等学校	1	京都第二赤十字病院 消化器内科医師 吉本 隆晃
12/14	京都聖カタリナ高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
12/16	京都府立桃山高等学校	1	京都府健康福祉部 理事 重見 博子

<生徒の感想>

- ◇ 生きている中で、がんにかかる人は多いし、自分にならないように気を付けていきたいです。また、家族や周りの人にも気を付けてほしいと思いました。生活習慣を乱さないように、心がけていきたいです。
- ◇ がんは健康な人でもなる可能性があるということが知れて良かったです。今日学んだにも教えてにも教えてあげようと思います。
- ◇ 今回の話を聞いて、大人になったらがん検診に行こうと思ったし、家族や身近な人にも勧めようと思いました。がんの予防方法や原因について知れたので、意識していこうと思いました。
- ◇ がんは誰でもなると聞くけど、具体的な対策が分かっていなかったのが知れてよかった。身近な人たちと気を付けて、生活習慣をきちんとしないといけないなと感じました。
- ◇ 男性も乳がんになるってということで、びっくりしていました。がんのことがものすごく詳しく分かりました。ありがとうございました。
- ◇ 今回のがんについての授業を受けて、「がん」という病気について理解が深まりました。そして、「がん」は身近な病気であり、誰でもかかる可能性があることを理解し、「がん検診」に行きたいと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp